

SHOEIKAI MIND BOOK

想いが、人をつくる。
人が、未来をつくる。



医療法人勝榮会グループ[®]

| | |
|------|---|
| 代表 | 入谷栄一 |
| 構成 | 70名(常勤医師:8名、非常勤医師:12名、正職員:17名、パート:33名) ※2025年12月1日現在 |
| 沿革 | 2013年9月 いりたに内科クリニック開院 2016年5月 医療法人社団勝榮会として法人化 2024年6月 医療法人社団銀葉会をグループ化 2025年4月 せきとぜんそくのクリニック 中野駅前院開院 2026年1月 方南町呼吸器内科 せきとぜんそくのクリニック開院 2026年2月 いりたに内科クリニックが 方南町駅前クリニック 内科と耳鼻咽喉科と訪問診療に名称変更 |
| 所在地 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉4丁目51-6 フォンティーヌ杉並1階 |
| 事業内容 | クリニック運営(外来診療、在宅診療)、医療コンサルティング |



Web



Recruit



X



Instagram



Blog



「患者の想いを聴き・応え・超える」



私たち、「患者の想いを聴き・応え・超える」を創業理念とし、常に挑戦し、成長し続けています。医療は、患者さんとの信頼関係の上に成り立つもの。そして、私たちの成長なくして、より良い医療は提供できません。

SHOEIKAI は、患者さんのために「今できる最善」を追求し、その過程で生まれる課題に真正面から向き合い、乗り越えてきました。時に泥臭く、時に試行錯誤を繰り返しながらも、「挑戦と成長」を軸に、一人ひとりが自分の限界を超えていく。

この MIND BOOK は、SHOEIKAI のカルチャー、そしてそれを支える「人」の物語を伝えます。



勝榮会グループ代表
東京女子医科大学呼吸器内科非常勤講師
「長引く咳」の治療を得意としており、わかりやすい説明が評価され全国規模で講演に呼ばれる。一方でハーブやアロマにも造詣が深く、日本初の「ハーブ専門外来」を開設した実績を持つ。著書に『キレイをつくるハーブ習慣』、『病気が消える習慣』（経済界）ほか多数。

普通のクリニックでいいなら、私がやる意味はありません

幼少期に重度の喘息を抱え、命の危機や入退院を繰り返した経験から呼吸器の道へと進みました。病気により劣等感や差別をたくさん経験したからこそ、苦しむ人の力になりたいという想いは消えませんでした。

だからこそ、ただ診るだけでなく、「安心」を届けられる場所をつくりたかった。私自身、挑戦する機会を多くの人に与えてもらい、成長できました。今度はその恩を返す番。スタッフにも「人から必要とされる人生」を歩んでほしい。挑戦できる場をつくりたい。

一緒に働く仲間が、自分の力で未来を選び取れるように—それが私の願いです。

MESSAGE

医療法人勝榮会グループ
代表 入谷 栄一

SHOEIKAI HISTORY

挑戦と成長の軌跡

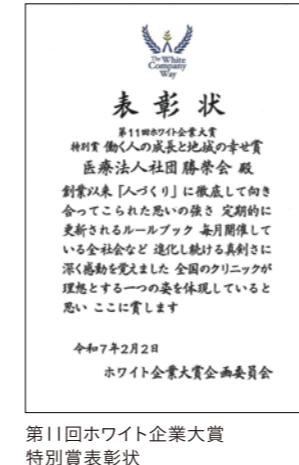
医療法人社団勝榮会は、2013年に東京都杉並区に「いりたに内科クリニック」としてパート5名でスタート。3年目には法人格を取得し、現在では、呼吸器専門医を中心として、高い専門性を持った医師がグループ全体で常勤8名、非常勤12名在籍し、質の高い医療を地域社会に提供しています。

「スタッフが幸せだからこそ、患者さんも幸せになる」「スタッフにとって働きやすい環境が整って、はじめて患者さんも安心して来院していただける」という考え方のもと、「患者さんファースト」に加え、「スタッフファースト」の職場へも意識改革。スタッフが「安心」と「幸せ」を手に入れるためには「教育」により「実力」をつけることが一番だと考え、徹底したスタッフ教育を実施しています。

勝榮会出身として4つの自信(自分、職業、会社、仕事)を意識し、どこにいっても一流として通用するように実力をつけ、「選択できる人生」「人から必要とされる人生」になるように、理念共有、人財育成、働きがい全てを運動させた取り組みを行っています。



クリニック地下1階に健診センターオープン



第11回ホワイト企業大賞
特別賞表彰状



第12回ホワイト企業アワード
「人事評価制度部門」の受賞



小さな組織で大きな幸せ

いりたに内科クリニックが
方南町駅前クリニック内科と
耳鼻咽喉科と訪問診療に名称変更

2026.2

方南町呼吸器内科
せきとぜんそくのクリニック
開院

2026.1

2025.11

せきとぜんそくのクリニック
中野駅前院開院

2025.4

WELLBEING AWARDS 2025
FINALIST選出

2025.12

ホワイト企業認定シルバー取得



カフェスペース

Bar



コロナ禍での診療の様子



9時診療開始の受付を待つ列



クリニック1階待合室

一般的な内科クリニックの1日の平均患者数は60名程度。いりたに内科クリニックでは1日200~300名の患者さんを診察しています。並んででも受診したいと思われる安心感と価値を地域に提供し、信頼関係を築いてきました。

また、在宅診療部門では、500名以上の患者さんを24時間365日対応。この患者数は中小規模の病院と同じベッド数に相当します。

SHOEIKAI CAREER

SHOEIKAIでは業務別に育成カリキュラムに則した教育を実施。定められた期間内でプロとしてのレベルに確実に到達できるようサポートしています。スタッフ3名のキャリア変遷を紹介します。



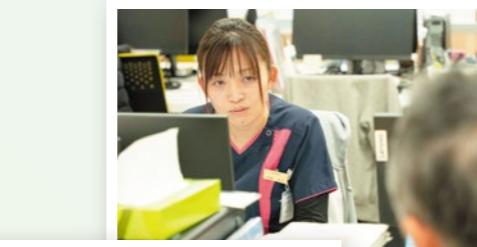
中村 尚子
2019年入職 看護部 統括部長

高校卒業後、横浜にある看護学校に進学。授業・実習・アルバイトと忙しい日々の中、しっかり学び、しっかり遊び、楽しい学生生活を送る。無事に国家試験突破し、看護師人生をスタート。看護師になって良かったと幸せを感じつつ、健康第一をモットーに生きています。

Nakamura Naoko

STEP OF CAREER

- STEP 1 入職前
大学病院等経験後、専業主婦を7年経験し、病棟で看護師復帰！
- STEP 2 入職当時
入職後1年間はパートとして外来勤務していました。
- STEP 3 現在
外来・在宅診療部の看護師統括として、両方の現場に出ています。







NEXT STAGE
人前で話せるスキルを身につけ
社会人として成長していきたいです！

エイ・タンダーチョー
2017年入職 事務部 統括部長

ミャンマーから来日。医療関係の仕事は未経験から入りました。日々新しい知識を学び、成功と失敗を繰り返し困難を乗り越えることにやりがいを感じています。仕事もプライベートも動き回っているのが好き。じっとしているとペースが狂ってしまうタイプ。

Aye Thandar Kyaw

STEP OF CAREER

- STEP 1 入職前
IT企業で通訳・翻訳、外国人人材派遣会社で営業職を経験。
- STEP 2 入職当時
入職当時は日本語・医療用語の壁があり、医療知識もゼロでした。
- STEP 3 現在
事務部の統括として、事務全体を管理し、分院の立ち上げにも携わっています。







NEXT STAGE
後輩からこの人みたいになりたいと思われる先輩・リーダーになりたいです！

嶋崎 万緑花
2017年入職 本部 マネージャー

ゆっくりまったりすること、食べることが好きでプライベートはマイペース。仕事は、『何事も挑戦！！』がモットーで、外来・在宅・本部全部署制覇！！なんでもできる臨床検査技師を目指しています！

Shimazaki Marika

STEP OF CAREER

- STEP 1 入職前
たこ焼き屋でたこ焼きを作っていました。
- STEP 2 入職当時
外来処置室にて、臨床検査技師として検査業務を行っていました。
- STEP 3 現在
臨床検査技師と本部兼務で人事や労務の業務も行なっています。





NEXT STAGE
本部業務も知識豊富な検査技師になりたいです！

SHOEIKAI STORY

「人が育つ」風土づくりを目指す

SHOEIKAIでは、「人を育てる」ではなく、「人が育つ」風土づくりを目指し、与えられるのを待つのではなく、能動的に学べる仕組みを作っています。

勉強会制度

毎週土曜日の午後は、勤務時間内に様々な勉強会を行っています。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 第1土曜日 | 整理整頓(学習効果の最大化) +部署内ミーティング(勉強会) |
| 第2土曜日 | 勉強会 |
| 第3土曜日 | スタッフプレゼンテーション |
| 第4土曜日 | スタッフミーティング+コンバ |
| 第5土曜日 | 勉強会 |

理念を「生きた共通言語」にするため、土曜日の診察時間9時～17時を9時～13時に短縮し、午後の診察時間を理念研修に充当しています。



Yoshioka Mihiro

吉岡 美洸
2025年入職 本部

新卒1年目はもちろん、内定者インターンの段階から、大きな裁量を持って仕事に取り組めています。仕事を与えられるだけではなく、自分から手を上げてチャンスを掴める環境があり、挑戦を本気で応援してくれる人がいるからこそ、日々成長を追い求めて過ごすことができています！



Miyata Misaki

宮田 美彩季
2024年入職 外来診療部

入職1年目から課業だけに集中するのではなく、プロジェクトを担当させていただきました。そのため、課業の習得はもちろん、プロジェクトを通して企画力や発表力など仕事をするうえで必要な力が備わっており成長していると感じます。



Kudo Yukiko

工藤 有希子
2024年入職 看護師 在宅診療部

本人のニーズ・個別性を理解し、家族も丸ごと診るのが在宅診療の強みです。また問題抽出ではなく、ウェルネス思考でその強みを生かす考え方の大切だと思っています。初めて在宅診療に挑戦しているからこそ、より広い視野で物事を捉える視点を身に付けて頼られる看護師に！



Morita Yoshihiro

森田 好洋
2019年入職 本部

入職以降、人事異動で外来→在宅→本部と、業務を行ってまいりました。それぞれの部署で仕事にコミットすることができ、結果キャリアアップに繋がっていることが自慢です。

SGMB(勝栄会モラルブック)

スタッフ全員の方向性を揃えるためにはしっかりととしたルールが必要。社内ハンドブック(Shoeikai Group Moral Book)を作成し、記載事項を徹底しています。社内ハンドブックにより、スタッフ間の価値観のばらつきがなくなり、働きやすい環境に。定期的に内容を見直し、常にプラッシュアップしながら現状に沿った「生きたルール」を維持し続けています。

業務マニュアル

看護師、医療事務、在宅診療、連携室、本部5部門向け4部門の綿密な業務マニュアルを完備。新入職員は業務マニュアルの改訂作業を必須としており、入職してから半年後に改訂することを課業に入れています。綿密な業務マニュアルは属人化を防ぎ、あらゆる仕事を標準化。新人からベテランまで安定した医療体制の提供が可能に。



医療機関では珍しく、公平な評価制度を導入

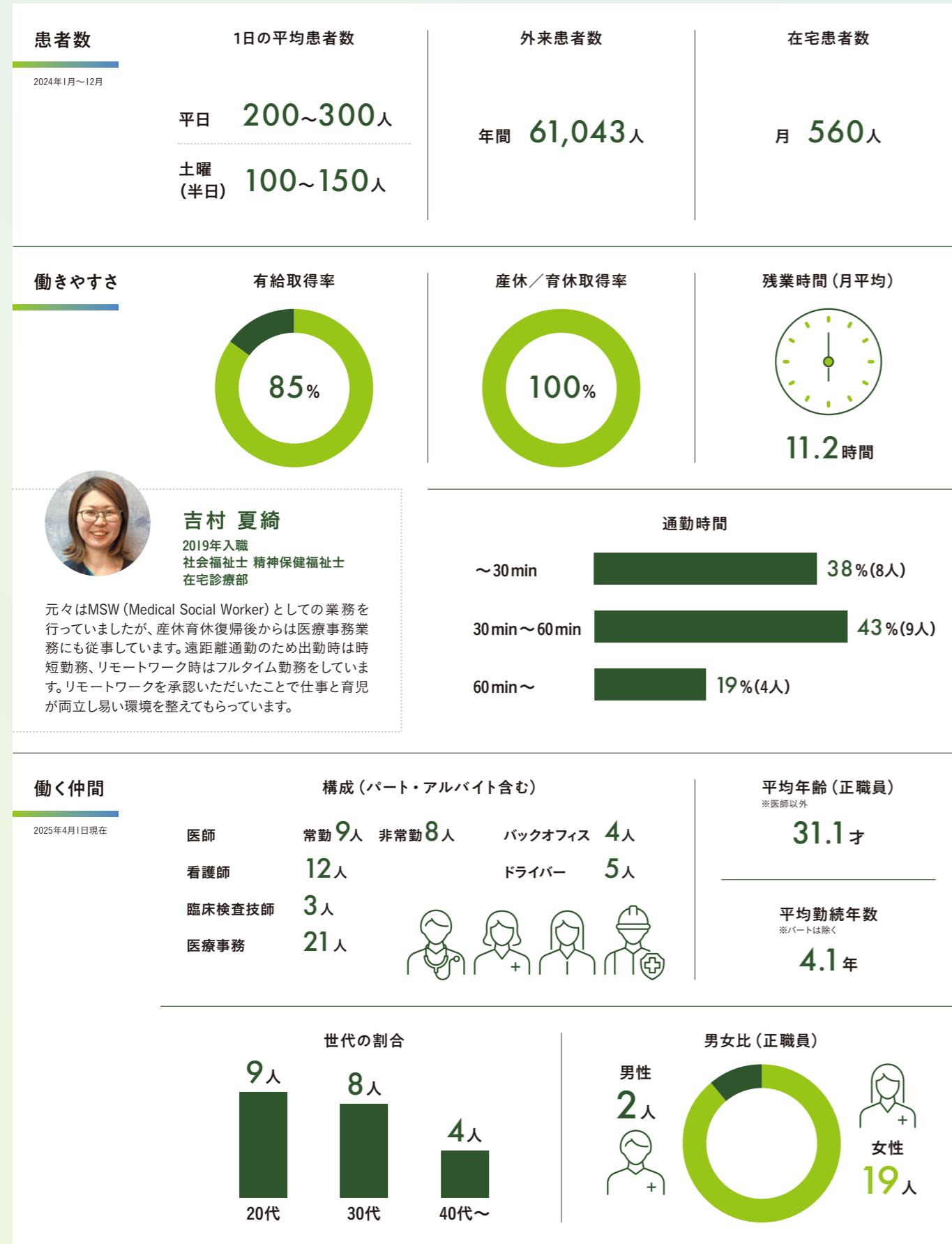
評価担当者を設置し、社内ハンドブックに職種ごとの年収グレードによる給与額を明記。年2回目標シートを作成し、「自分で目標を立て行動する、自分との約束を守る」習慣を身に着けながら、日々成長を繰り返し、入職時には考えられないほどの成長を遂げられるようにサポート体制を整備しています。

評価ウェイトは上長と相談して割り振りをすることができる仕組みになっており、個々が強化して取り組むべき部分が明確になるため、成長できたら自ずと評価が上がることになります。



SHOEIKAI NUMBERS

SHOEIKAI ってどんな職場?



若手スタッフによる社内プロジェクト推進



若手スタッフは早い段階から社内プロジェクトを任せ、活躍のチャンスが与えられています。新卒スタッフ中心のX(旧Twitter)プロジェクトや、最近では新たにInstagramプロジェクトもスタート。クリニックブログの更新もスタッフ全員で取り組み、SNSを中心とした情報発信を積極的に行ってています。

クリニックでは日本初 「5日間の本格的なインターンシップ」実施



最初の3日間で「働くとは何か」を考え、学生自身が何をしたいかを見極めた後、残りの2日間で実際に医療業界に興味を持った学生向けのプログラムを実施。内定後には、長期インターンとして、配属予定部署にて、学生の時点から全国トップレベルの医療関連業務(マーケティングや採用業務等)を経験することができます。

SHOEIKAI INITIATIVE

働きがいも働きやすさも

SHOEIKAIの取り組みについてご紹介します。

ライフステージに合わせた雇用形態で 職業能力を発揮



当法人の看護職、医療事務職の責任者は女性スタッフ。性別関係なく、医療従事者が働き続けられる職場環境の更なる整備を進めています。

2024年からアワードを開催



課業精励の功績と理念の実践を称え、社員表彰の場としてアワードを開催し、スタッフのモチベーションとエンゲージメント向上に寄与しています。

外国籍社員のキャリア支援



ミャンマー籍の女性スタッフが外来医療事務の責任者を務めており、外国籍であっても本人の能力とやる気次第で活躍の場が十分に与えられています。将来的には外国籍スタッフの研修や受け入れを増やしていく予定です。